



2020年6月9日

各位

会社名 株式会社LIXILグループ  
代表者名 代表執行役社長 瀬戸 欣哉  
(コード：5938 東証・名証各一部)  
問合せ先 IR室 室長 平野 華世  
(TEL. 03-6706-7001)

### 連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ

当社は、本日、アークランドサカモト株式会社（以下、アークランドサカモト社）および当社の連結子会社である株式会社LIXIL ビバ（以下、LIXIL ビバ社）との間で、LIXIL ビバ社の普通株式に対しアークランドサカモト社が実施する現金対価の公開買付け（以下、本公開買付け）ならびに本公開買付けの成立を条件とするLIXIL ビバ社の普通株式の株式併合およびLIXIL ビバ社の自己株式取得による当社保有のLIXIL ビバ社の全普通株式のLIXIL ビバ社への譲渡（以下、本株式譲渡）を通じた、アークランドサカモト社によるLIXIL ビバ社の完全子会社化、その他これらに付随または関連する取引等（総称して以下、本取引）に関する覚書（以下、覚書）を締結すると共に、アークランドサカモト社との間で本取引に関する合意書（以下、合意書）を締結しましたのでお知らせいたします。本株式譲渡により、LIXIL ビバ社は当社の連結子会社から外れる予定です。本取引の詳細につきましては、LIXIL ビバ社の本日付プレスリリース「アークランドサカモト株式会社による当社株式に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」をご参照ください。

#### 記

##### 1. 異動の理由及び方法

LIXIL グループ（以下、当社グループ）は、起業家精神にあふれた組織を構築し、持続的な競争力と成長の実現を通じて、世界中の人々のより豊かで快適な暮らしの実現に貢献することを目指しております。これを達成するため、当社グループでは、ガバナンスの強化、生産性と効率性の向上を図るため基幹事業への専念と事業間シナジーの推進、将来成長と財務体質の強化を図るための事業ポートフォリオの最適化など、事業運営における様々な変革を進めております。

本株式譲渡は、こうした事業構造の簡素化と組織の統合を進めることで、更なるシナジーの創出および効率化を目指す当社グループの取り組みに合致するものです。

LIXIL ビバ社は、ホームセンターで「住生活」に関するあらゆる商品・資材・各種工事やサービスを提供している企業です。特に、大きな売場面積で、リフォームに必要な多種多様な商品の在庫を常時確保することで、プロ事業者のワンストップ仕入を可能としている点が強みであり、業界内で確固たる地位を築いております。しかしながら、日本の人口減少に伴う客数の減少や、ドラッグストアやEコマースの台頭等、競争環境の激化や消費者行動の変化といった外部環境のリスクが課題となっております。

LIXIL ビバ社の事業は、流通・小売り事業であり、当社グループが注力する基幹事業とは異なっております。それゆえ、同社の株式を譲渡することにより、当社グループは、基幹事業に経営資源を集中投資して事業間シナジーを促進し、新規事業や利益成長の高い事業にも投資できるようになり、経営の効

率化を図ることが期待されます。また、既に LIXIL ビバ社は事業面においては当社グループから独立しておりますが、本株式譲渡を通じ、資本関係においても独立することにより、当社グループはこれまで以上に高い独立性を持つサプライヤーとして、当社グループの重要な顧客である多くのホームセンター小売事業者とのビジネス上の関係を更に発展させることが期待されます。

これらの理由から、当社は、当社、LIXIL ビバ社及びLIXIL ビバ社の少数株主にとって最適なLIXIL ビバ社普通株式の譲渡先を選定すべく、幅広い候補先を招聘した入札プロセスを実施し、各候補先から提示された条件等を総合的に慎重に検討した結果、当社の経済価値最大化の観点のみならず、本取引に必要な資金調達をはじめとする本取引執行の確実性の観点等においても優れたアークランドサカモト社が最適な売却先であるとの結論に至りました。また、LIXIL ビバ社においても株式価値評価額、本取引実施後の事業戦略の方向性等を総合的に慎重に検討した結果、アークランドサカモト社の提案が最善であるとの結論に至ったとのことです。その後、LIXIL ビバ社との3社で協議を進め、本日、覚書および合意書を締結し、本株式譲渡を通じ当社が保有するLIXIL ビバ社の全ての普通株式をLIXIL ビバ社へ譲渡することを決定いたしました。なお、LIXIL ビバ社とアークランドサカモト社は、本日付で本公開買付けの成立を効力発生の条件とする資本業務提携契約を締結したとのことです。詳細につきましては、LIXIL ビバ社の本日付プレスリリース「アークランドサカモト株式会社による当社株式に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」及び「資本業務提携契約の締結に関するお知らせ」をご参照ください。

本取引において当社は、LIXIL ビバ社が設置した特別委員会から、本株式譲渡について当社に法人税法に定めるみなし配当の益金不算入規定が適用されることが見込まれることを踏まえ、アークランドサカモト社の最終意向表明書における提案内容よりもLIXIL ビバ社の少数株主の利益を増大化させることを目的として、本株式譲渡の一株当たり譲渡価格を下げることにより本公開買付けの公開買付価格を高くするよう要請を受けました。かかる要請に応じることにより、LIXIL ビバ社の少数株主の利益に適切に配慮することができることに加え、LIXIL ビバ社の少数株主の本公開買付けへの応募株式数の増加が期待され、結果として本取引の実行確実性を高めることができるという点において、当社及び当社株主の利益に資することから、当社はかかる要請を受諾し、特別委員会との協議の結果、本株式譲渡の一株当たり譲渡価格を2,423円、本公開買付けの公開買付価格2,600円とすることで合意に至りました。

## 2. 異動する子会社（LIXIL ビバ社）の概要

(1)	名 称	株式会社LIXIL ビバ	
(2)	所 在 地	埼玉県さいたま市浦和区上木崎一丁目13番1号	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長兼CEO 渡邊 修	
(4)	事 業 内 容	ホームセンター事業、リフォーム事業、ヴィシーズ事業、デベロッパ事業	
(5)	資 本 金	24,596百万円	
(6)	設 立 年 月 日	1993年6月24日	
(7)	大株主及び持株比率	株式会社LIXIL グループ 53.2%	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社の連結子会社であります。
		人 的 関 係	該当事項はありません。
		取 引 関 係	リフォーム、住宅設備機器、大工用品の仕入取引をおこなっております。

(9) 当該会社(単体)の最近3年間の経営成績及び財政状態				
決算期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	
純資産	47,700百万円	62,864百万円	66,260百万円	
総資産	160,478百万円	178,333百万円	190,656百万円	
1株当たり純資産	1,066.64円	1,433.21円	1,509.08円	
売上高	177,953百万円	180,926百万円	188,506百万円	
営業利益	8,264百万円	10,817百万円	10,010百万円	
経常利益	7,673百万円	10,112百万円	9,389百万円	
当期純利益	5,070百万円	18,442百万円	6,597百万円	
1株当たり当期純利益	113.72円	414.79円	150.29円	
1株当たり配当金	41.00円	50.00円	50.00円	

### 3. アークランドサカモト社の概要

(1) 名称	アークランドサカモト株式会社		
(2) 所在地	新潟県三条市上須頃445番地		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長(CEO) 坂本勝司		
(4) 事業内容	「ホームセンタームサシ」の経営、DIY関連商品の卸売		
(5) 資本金	6,462百万円		
(6) 設立年月日	1970年7月1日		
(7) 純資産	83,105百万円(2020年2月期)		
(8) 総資産	105,608百万円(2020年2月期)		
(9) 大株主及び持株比率	有限会社武蔵 9.52%		
(10) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	当社の連結子会社による商品販売がありますが、その金額は僅少です。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	

### 4. 譲渡株式数及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	23,367,300株(議決権所有割合:53.2%)
(2) 譲渡株式数	23,367,300株
(3) 株式譲渡価額	56,619百万円
(4) 異動後の所有株式数	0株(議決権所有割合:0%)

### 5. 日程

(1) 取締役会決議日	2020年6月9日
(2) 契約締結日	2020年6月9日
(3) 株式譲渡実行日	2020年11月(予定)

## 6. 今後の見通し

当社は2016年3月期より国際会計基準（以下、IFRS）を適用しております。今回の合意書及び覚書締結に関する会計処理および表示の方法の詳細については今後監査人と協議することとなりますが、当社では、本公開買付けの成立を条件として、IFRS 第5号「売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業」に基づき、2021年3月期において、LIXIL ビバ社が保有する資産及び負債は売却目的で保有する資産及び負債に分類され、また同社の事業等から生じた損益は税引後の金額により非継続事業の損益として別掲されるものと考えております。

また、当社の2021年3月期の連結業績予想は新型コロナウイルス感染症の影響等を精査する必要により、現時点では未定としておりますが、本公開買付けの成立を条件として2020年11月頃に予定されている本株式譲渡が実行された場合、2021年3月期連結決算において子会社株式売却益（非継続事業からの税引前利益）約200億円の計上を見込んでおります。

連結業績予想につきましては、開示が可能となった段階で、本株式譲渡による当該影響も考慮のうえ公表させていただきます。

以 上